

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和5年8月31日
NO.7 文責 河村

キャリア「機関庫の川と友だち～機関庫の川の生き物を調べよう」

機関庫の川を学習のフィールドとして、人間関係形成・社会形成能力（他者を理解する力・コミュニケーションスキルなど）や課題対応能力（情報の選択・処理、課題発見、実行力など）を学んでいます。

3年生の子どもたちは、1学期間を通して、たくさんの疑問や課題をもてるよう、実際に、生き物や環境を調べたり、水質検査の実験をしたりなど、機関庫の川をフィールドとして主体的にかかわってきました。

2学期のスタートとなる機関庫の川の調査は、今年度も「NPO法人 十勝多自然ネット」の皆さんにお越しいただき、たくさん

のサポートをいただきながら取り組むことができました。

今年度は、3年生の学年全体を6つのグループに分けて活動をスタートしました。今回は、帯広北高等学校付近まで範囲を広げ、実際に捕まえた生き物の生態や特徴について、ガイドの先生方に詳しく教わることができました。

捕れた生き物の数ですが、ウチダザリガニ454匹、フクドジョウ116匹、ヤマメ17匹、ウグイ・ニジマス5匹、トゲウオ2匹、カジカ・イトウヨ・ゲンゴロウ1匹となりました。圧倒的なウチダザリガニの数に、「ウチダザリガニがたくさんいる理由を知りたい。」「機関庫の川にウチダザリガニがいっぱいいるから、魚が少ないのかな。」などの子どもたちの反応がありました。

- トゲウオとヤツメウナギがめずらしい生き物だと知りました。トゲウオがとれる川がきれいなことがわかりました。
- ガイドの妹尾さんにザリガニの種類やオスやメスの見分け方などを教えてもらいました。魚がニユルニユルしていてさわることが難しかったです。
- 友達と初めてニジマスをとったことが心に残りました。フクドジョウが口をパクパクしていたところがかっこ良かったです。
- 機関庫の川のために、ニホンザリガニを増やしたいと思いました。
- ガイドの田中さんにザリガニのとり方を教えてもらいました。2ひき同時にとれてうれしかったです。
- フクドジョウには歯がなくて、ヤマメには歯があること、ニジマスとヤマメのもようのとくちょうなどを教えてもらいました。

今回の学習を基に、これからのゆたかの授業に生かしていきます。

